

長野県伝統的工芸品産業実態調査結果について

長野県産業労働部
産業技術課

1 調査概要

目的：県内の伝統的工芸品産業の売上規模や従業員規模等を把握することにより、今後の振興施策につなげる

期間：令和6年8月～9月（令和5年度(直近の決算期)の状況について調査）

方法：産地組合等を通じて把握した事業者に調査票を郵送*

※令和6年9月20日付けで新規指定した松本本藍型染、阿島傘の2品目は今回調査対象外

2 調査結果

(1) 事業者数

現在活動している事業者数（産地組合等を通じて把握した数）

今回	240者（▲9者）
前回（R4）	249者

(2) 従業員数

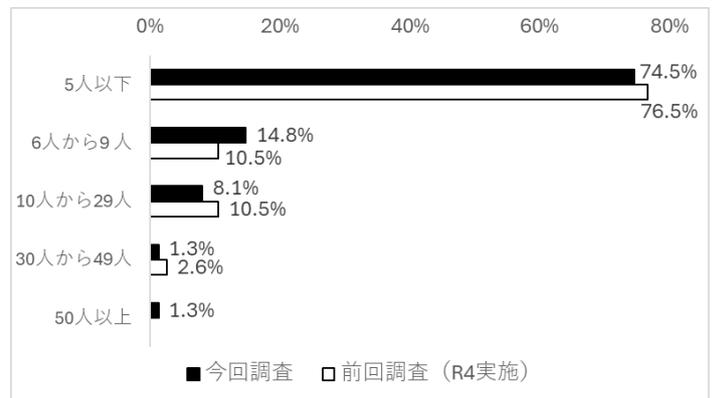
① 伝統的工芸品産業全体

今回	863人（+115人）
前回（R4）	748人

n=149（240事業者のうち回答があった事業者数149）

n=156

【従業員規模ごとの事業者数の割合】



② 1事業者あたり平均従業員数

今回	5.79人（+1.00人）
前回（R4）	4.79人

従業員規模ごとの事業者の割合は、従業員数5人以下の事業者が7割を超え最も多かった。

(3) 売上高

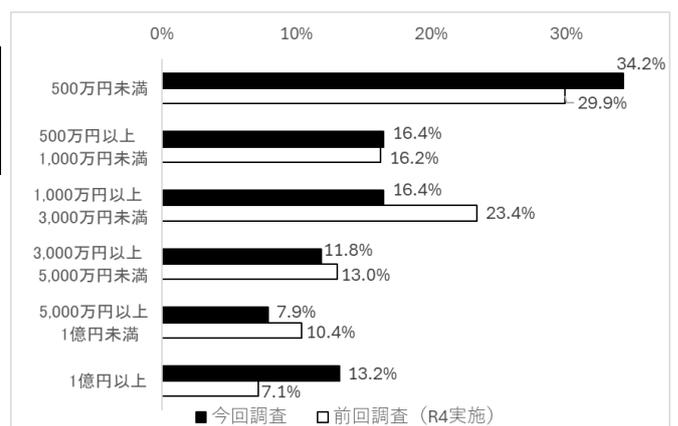
① 伝統的工芸品産業全体

今回	95億2千万円（+29億円）
前回（R4）	66億2千万円

n=152（240事業者のうち回答があった事業者数152）

n=157

【売上規模ごとの事業者数の割合】



売上高が「500万円未満」の事業者が、34.2%と最も多い、一方で「1億円以上」も13.2%あることから、工芸品の種別または事業者ごとに二極化傾向がみられる。